

RHEON[®]

レオン自動機株式会社
RHEON AUTOMATIC MACHINERY CO., LTD.

証券コード 6272

第63期株主通信

中間

2024年4月1日～2024年9月30日



万能自動包あん機「N208型」を発表 (1986年)

「N208型」の最大の特徴は、従来の包着盤のほかに新オプションとして搭載された「非粘着インクスター」にある。それまで欠かせなかった手粉を使わずに、粘性の強い素材の成形に威力を発揮した。また、従来の包着盤との使い分けで用途が拡大したばかりでなく、さらに分解清掃も簡単でより衛生的になった。「手づくり感覚」と「生産性の向上」を同時に実現する「N208型」は、食生活の多様化という時代にあわせて誕生したと言える。

存在理由のある
企業たらん

Top Message

株主の皆様には、日頃より、
当社グループの事業活動・企業活動に格別のご理解、ご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。
当社グループ第63期中間株主通信をお届けするにあたりご挨拶申し上げます。



当中間連結会計期間(2024年4月1日から2024年9月30日)におけるわが国経済は、好調な企業業績を背景に賃上げを実施した企業が多く、雇用や所得環境が改善し、景気は緩やかな回復が見られましたが、物価の上昇やエネルギー価格の高騰が続き、依然として先行き不透明な状況が続いております。海外経済におきましては、欧州ではウクライナ情勢長期化の地政学リスクは高いものの、インフレ率低下により消費が回復し、米国では好調な企業業績と物価上昇率の鈍化により、経済は堅調に推移しました。中国では不動産市場の低迷や海外景気減速による需要不足から、景気回復ペースは鈍化しました。

食品加工機械製造販売事業では、国内は大手ベーカリー向けの受注は回復したものの減収となりました。米国では大手企業の設備投資需要が強く、欧州では人手不足を背景に自動化を進める設備投資需要が継続し堅調に推移しました。中国では、包あん機の受注は回復してきたものの、厳しい状況が続きました。

食品製造販売事業におきましては、米国では消費動向や原材料価格が落ち着いており好調を維持しております。

このような状況の中、第63期中間連結会計期間における売上高は19,693百万円(前年同期比8.3%増)、営業利益は2,764百万円(同21.3%増)となりました。経常利益は2,727百万円(同15.5%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は1,889百万円(同0.5%増)となり、当期の中間配当につきましては、1株当たり21円といたしました(年間では42円を予定)。

今年度は中期経営計画(2023年度から2027年度)の2年目であり、引き続き「①成長基盤の強化」、「②利益基盤の強化」、「③経営基盤の強化」の基本戦略を推進してまいります。当社グループが主要市場とする食品業界は、各種コストの上昇への対応、人材確保の難しさ等の課題を抱えており、それらに対応した新機種の開発やソフト技術を強化し、「スマートファクトリー」の実現に取り組んでまいります。また、サステナビリティの課題である食品製造過程における食品ロス削減にも積極的に取り組んでまいります。

株主の皆様には、末永く当社グループをご支援いただきますよう、心よりお願い申し上げます。

2024年12月

代表取締役社長

小・林 幹央

財務ハイライト

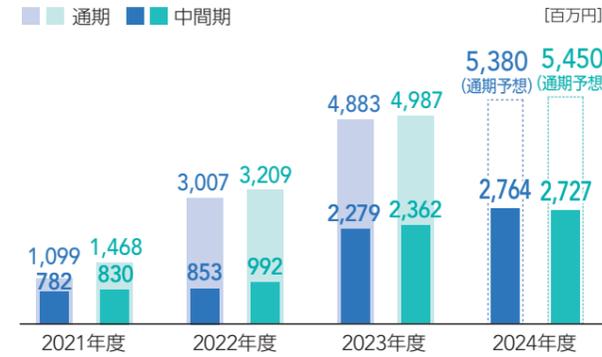
売上高

19,693百万円 前年同期比 8.3% UP



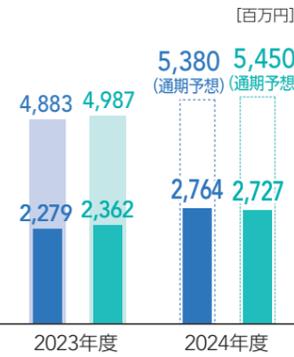
営業利益

2,764百万円 前年同期比 21.3% UP



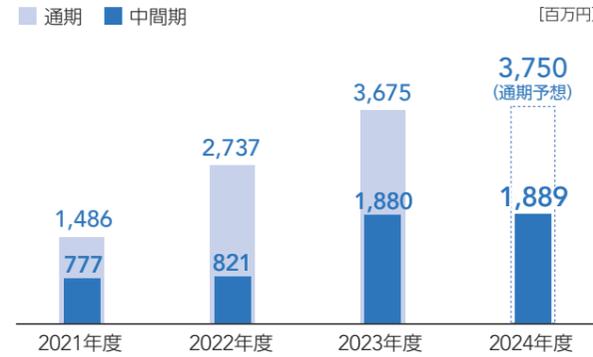
経常利益

2,727百万円 前年同期比 15.5% UP



親会社株主に帰属する中間純利益

1,889百万円 前年同期比 0.5% UP



1株当たり中間純利益

70.38円

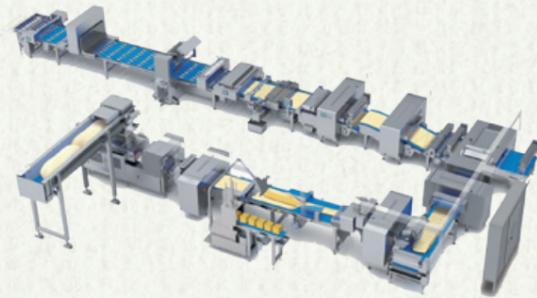


セグメント別売上高の推移

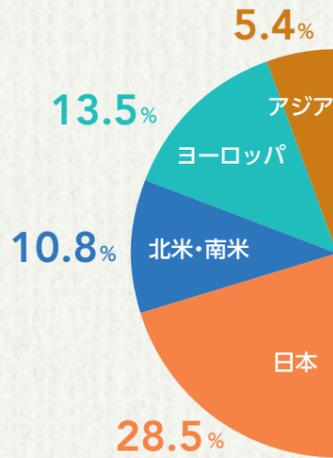
食品加工機械製造販売事業

11,447百万円 前年同期比 105.0% 構成比 58.2%

日本とアジアでは売上が減少しましたが、欧米では製パンライン等の販売が好調で、円安の影響もあり売上が増加しました。ヨーロッパでは主力機種である小型製パン機「ツインデバイダー VX222」の販売が堅調に推移し、米国ではアルチザンブレッドラインの販売が好調を維持しました。



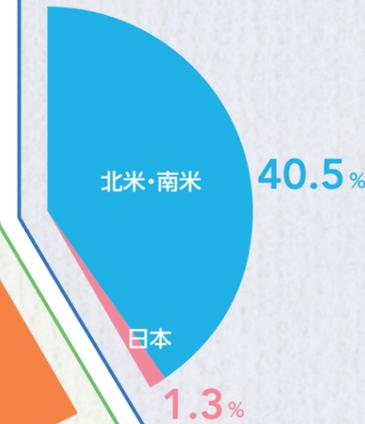
ヨーロッパでは「V4ペストリー生産ライン」も販売しました



食品製造販売事業

8,246百万円 前年同期比 113.3% 構成比 41.8%

米国子会社であるオレンジベーカーリーでは、既存大手顧客の受注増加や、新規顧客の獲得と円安の影響もあり、売上・セグメント利益ともに増加しました。国内子会社の(有)ホシノ天然酵母パン種におきましても、材料卸業者向けの売上が増加したこと、製造工程の見直しによる原価低減などにより、売上・セグメント利益ともに増加しました。



日本

売上高 5,617百万円
セグメント利益 2,230百万円



北米・南米

売上高 2,120百万円
セグメント利益 148百万円



ヨーロッパ

売上高 2,649百万円
セグメント利益 315百万円



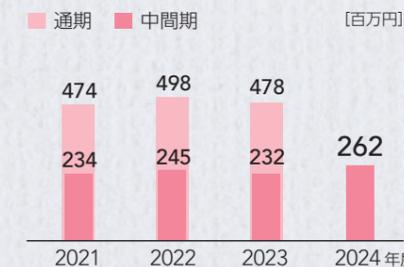
アジア

売上高 1,060百万円
セグメント利益 246百万円



日本

売上高 262百万円
セグメント利益 49百万円



北米・南米

売上高 7,983百万円
セグメント利益 861百万円



展示会報告

未来を切り拓く革新技術を披露！

FOOMA JAPAN 2024 6/4～7 東京ビッグサイト



FOOMA JAPAN(国際食品工業展)は、世界最大級の食品製造総合展です。今回は、出展社数が約1,000社、来場者も11万人以上と過去最大規模となりました。当社は、リニューアルしスマートライン化した「HMペストリーライン」や、ロボットアームを組み込んだ最先端機種を展示・実演し、お客様から大きな反響をいただきました。

今後も、労働環境の改善、品質の向上や生産の効率化など、食の抱える様々なテーマに対し、最新鋭の食品機械、最新の情報をお客様にご提供することで最適な解決策をご提案してまいります。

フィルドクロワッサン(カスタードクリーム)の成形を実演。
スマートライン化でより高品質となったことをお客様にご確認いただきました。



製品紹介

革新の「HMペストリーライン」を徹底紹介！

「HMペストリーライン」は、クロワッサンやペストリーを自動で生産する最新型機です。IoT機能を搭載した次世代型スマートラインとして初披露となりました。多彩な制御技術が駆使されている、このスマートラインの主な機能をご紹介します。

HMペストリーライン
トータルな生産管理で
食品ロスを削減します！



- 1 生地の状態や機械の動きなどを管理して適正な生産状態を保ち、不具合品の発生を抑える
- 2 生産数の予実など、機械の稼働状況を監視して、リアルタイムで伝える
- 3 機械の正常な動きの範囲を制御し、そこから逸脱した場合には即座に知らせ、事前に不具合対応を喚起する

IoT機能を搭載



- ・大型操作パネルでライン全体を一括操作
- ・スマホでも状況を確認可能

安定生産



生地厚・生地幅・温度の経過、
耳生地量を表示

生産監視



稼働状況、生産数、設備電流値、
生地厚・生地幅・温度(6か所)を監視し正常値を外れるとアラーム発報

予兆保全



ターナー部のトルクや各駆動部の
サイクル時間を監視し、正常範囲を外れるとアラーム発報

株主様アンケート結果のご報告

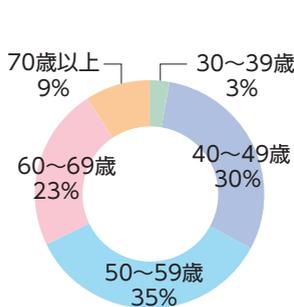
「第62期 株主通信」でご案内したアンケートでは、多くのご回答をいただき、誠にありがとうございました。皆様からいただきました貴重なご意見は、今後のIR活動・情報発信等に活かしてまいります。アンケート結果の一部をご紹介します。 ご回答者数 147名(回答率2.5%)

株主様アンケート結果の詳細は、
当社ホームページに掲載しております。

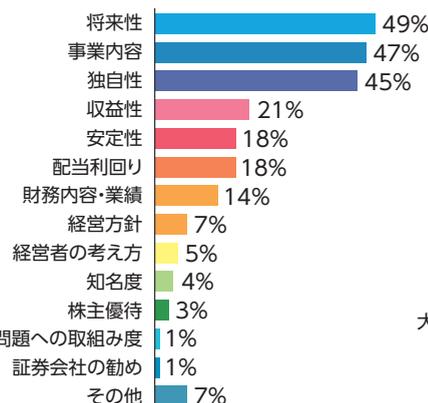
https://www.rheon.com/ir/library/shareholder_information/



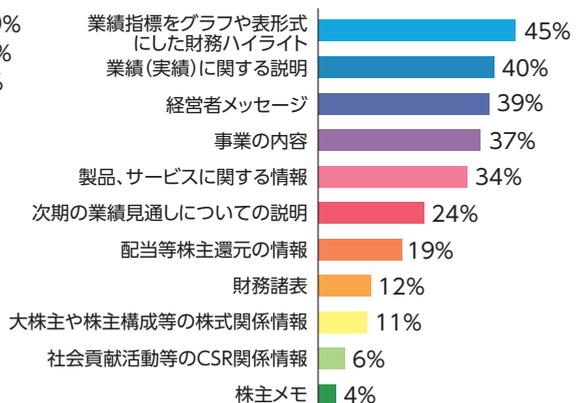
Q. あなたの年齢をお知らせください。



Q. あなたが当社の株式を購入された理由は何ですか。(複数回答可)



Q. どの掲載内容を中心にご覧になりましたか。(複数回答可)



会社情報/株式情報(2024年9月30日現在)

会社概要

商号 レオン自動機株式会社
RHEON AUTOMATIC MACHINERY CO., LTD.
本社 栃木県宇都宮市野沢町2番地3
設立 1963(昭和38)年3月15日
資本金 7,351,750,000円
従業員 580名

(注) 従業員には契約社員、嘱託社員、パートタイマー・準社員、国内外出向者、台湾支店の現地社員は含まれておりません。

役員

代表取締役社長 小林 幹 央
取締役常務執行役員 金子 保 茂
取締役常務執行役員 大貫 和 樹
取締役常務執行役員 細谷 昌 樹
取締役 平原 興
取締役 赤塚 孝 江
常勤監査役 秋田 規 男
監査役 横山 不二夫
監査役 水上 恵 理

(注) 1. 取締役平原興および取締役赤塚孝江は、社外取締役であります。
2. 監査役横山不二夫および監査役水上恵理は、社外監査役であります。
3. 取締役平原興、取締役赤塚孝江および監査役横山不二夫、監査役水上恵理は、東京証券取引所の定める独立役員であります。

事業所

上河内工場 宇都宮市中里町715番地1
東京営業所 江東区新砂1丁目6番35号
JMFビル東陽町02 1階
札幌出張所 札幌市白石区南郷通20丁目北1番37号
仙台出張所 仙台市泉区八乙女3丁目12番地の1
名古屋営業所 名古屋市名東区社台3丁目32番1号
大阪営業所 吹田市垂水町3丁目25番11号
岡山営業所 岡山市北区上中野2丁目12番18号
福岡営業所 福岡市博多区東那珂1丁目13番15号
台湾支店 台北市内湖区新湖一路118號5樓 台湾
上海駐在員事務所 中華人民共和國上海市長寧区虹橋路1438号
古北国際財富中心2期5階 503-30室

関連会社

- レオンUSA(アメリカ)
- レオンヨーロッパ(ドイツ)
- 株式会社レオンアルミ(日本)
- オレンジベーカーリー(アメリカ)
- 有限会社ホシノ天然酵母パン種(日本)

「つつむ」「レオンパレード」がデジタル化

季刊誌「つつむ」に続き、広報誌「レオンパレード」もデジタルブック化しております。ぜひご覧ください。

つつむ
<https://www.rheon.com/digital/tutumu/>



レオンパレード
<https://www.rheon.com/digital/rheonparade/>



閲覧のみとし、SNS等への掲載はお控えください。

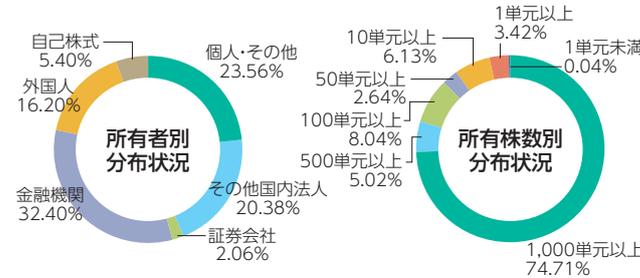
株式の状況

発行可能株式総数 42,800,000株
発行済株式総数 28,392,000株
株主数 6,537名

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,159	11.8
公益財団法人レオロジー記念財団	3,030	11.3
ラム商事株式会社	1,703	6.3
レオン自動機取引先持株会	1,451	5.4
株式会社足利銀行	1,260	4.7
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,182	4.4
JP MORGAN CHASE BANK 380684	825	3.1
レオン自動機従業員持株会	759	2.8
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505301	683	2.5
株式会社栃木銀行	680	2.5

※ 自己株式1,532,923株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。



株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL 0120-232-711(通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行う(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします。)

【お知らせ】

- ご注意
(1) 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
(2) 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてお取次ぎいたします。
(3) 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。
2. 配当金計算書について
配当金の口座振込をご指定の方と同様に、「配当金領収証」により配当金をお受取になれる株主様宛にも「配当金計算書」を同封いたしております。お受取になった配当金額がご確認いただけます。

レオン自動機株式会社

RHEON AUTOMATIC MACHINERY CO., LTD.

〒320-0071 栃木県宇都宮市野沢町2番地3

TEL.028-665-1111

<https://www.rheon.com/>

